

自然教育園見ごろ情報

2026年5月21日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<http://www.ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

ノハナショウブが
咲きました!



水生植物園



アカショウマ

花序は幅の広い円錐状で、小さな白い花が多数つきます。花序がサラシナショウマに似ていて、根茎が赤いことから名前がついたと言われます。



ヤマボウシ

開花の様子が白い頭巾をかぶった法師を思わせることにより「山法師 (やまぼうし)」の名前がつけられました。白い花びらのように見えるのは「総苞片 (そうほうへん)」で、その中心に小さな花が球状に集まっています。



ノハナショウブ

湿り気のある草地や湿地に生育します。牛馬には毒草のため、放牧原野では食べ残され、大群落になります。「ハナショウブ」は、ノハナショウブを改良した日本独自の園芸植物で、観賞用に様々な色形の品種が栽培されています。



ムラサキ

日の当たる草地に生育する植物。開発や長年の採集で数が少なくなり、東京都で希少種となっています。根に紫色の色素が含まれ、古くから染料として利用されています。



アサザ

武蔵野植物園の池で、小さな黄色い花を咲かせています。池沼の開発、水質汚染により日本各地で減少しています。

5月23日は
カメの日!



クサガメ

基本的に昼行性で日光浴を好みます。ひょうたん池の倒木の上で、クサガメが並んでひなたぼっこをしている姿が見られます。

全域で
見られます



ドクダミ

湿り気のある日陰地に群生し、特有の香りがします。利尿、解熱、解毒などの作用があり、生薬、民間薬、お茶として広く用いられています。



ハナミョウガ

茎や葉がミョウガに似ていて、花が美しいことが名前の由来。この花のタネは漢方薬として「伊豆縮砂 (いずしゆくしゃ)」の名で呼ばれ、腹痛などに用いられます。

